

令和8年3月18日

お客さま 各位

豊橋信用金庫

「能登半島復興応援定期積金」にかかる寄附レポートの掲載について

平素は、豊橋信用金庫をご利用いただき、誠にありがとうございます。

「能登半島復興応援定期積金」については、能登半島地震からの復興支援の一環として、信金中央金庫が主体となって全国各地の信用金庫（105金庫）が募集を行い、皆様のご協力により総額2,312億円（うち当金庫は50億円）のご契約をいただきました。

令和7年3月21日に、信金中央金庫が募集総額の0.25%にあたる5億7,800万円（うち当金庫は1,250万円）に、直接寄附6,000万円を加えた6億3,800万円を震源地に近く、甚大な被害を受けた石川県の6市町（七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町）に均等配分して寄附をさせていただきました。

この定期積金の趣旨にご賛同いただき、ご協力いただいた皆様の温かい支援のお気持ちに対して、深く感謝申し上げます。

今般、信金中央金庫より寄附対象地公体による寄附対象事業の進捗報告および復興支援を目的として、「能登半島 復興の歩み（能登半島支援レポート2026）」が発行されましたので掲載いたします。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

豊橋信用金庫 営業企画部 TEL：0532-57-7109

能登半島復興応援定期積金に寄せられたご支援への感謝

能登半島 復興の歩み

能登半島
支援レポート
2026

七尾市

輪島市

珠洲市

志賀町

穴水町

能登町

全国から寄せられたご支援が
能登6市町の
復興への力強い一歩となっています。



信金中央金庫

SCB

皆さまの想いが 能登半島の未来を照らす

信金中央金庫理事長メッセージ

能登の復興を、共に支え続けるために

令和6年1月に発生した「令和6年能登半島地震」により、犠牲となられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

信金中央金庫(理事長:柴田弘之、以下「信金中金」という。)では、能登半島地震からの復興支援の一環として、「能登半島復興応援定期積金」を令和6年10月に創設いたしました。本取組みにご賛同いただき、温かいご支援をお寄せくださった全国の皆さまに、厚く御礼申し上げます。

震災から約2年が経過いたしました。生活インフラの整備など着実な進展が見られる一方で、現地では今なお通行止めの道路が数多く存在するなど、未だ「復旧」の段階にある地域も少なくありません。かつての賑わいを取り戻すべく懸命な努力が続く観光地や地元の産業は、依然として厳しい状況にあります。一歩

ずつ「復興」へ向けて歩みを進めています。

こうした中、私たちは支援の火を絶やさないことが重要であると考えています。皆さまには、本レポートを通じて現地の状況を知っていただくとともに、ぜひ現地を訪れ、特産品を手にとっていただくことや、ふるさと納税制度を活用した6市町への直接的な寄附を通じて、お力添えいただければ幸いです。信金中金といたしましては、引き続き全国の信用金庫と連携し、被災地の復旧・復興に向けた取組みを支援してまいります。

信金中央金庫
理事長
柴田 弘之



寄附スキームの概要と贈呈式のご報告

皆さまの温かなご支援

復興への寄附 総額6億3,800万円

募集金額の0.25%を能登へ寄附する「能登半島復興応援定期積金」には、全国各地より総額2,312億円ものご契約をいただきました。皆さまの想いに、信金中金からの直接寄附6,000万円を加えた総額6億3,800万円を、甚大な被害を受けた6市町(七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町)へ均等にお届けいたしました。

配分金額

能登6市町へ

各106,333,334円

贈呈式 地元地方公共団体より、心からの感謝

2025年3月26日、七尾市、能登町にて、贈呈式が執り行われました。各地方公共団体から、全国のご契約者の方々へ深い感謝の言葉が述べられ、皆さまからの寄附金が「復興」という未来を切り拓くための大きな支えとなっていることが強く感じられる時間となりました。



左から、興能信用金庫 理事長 田代克弘氏、信金中金 理事長 柴田弘之、七尾市 市長 茶谷義隆氏、のと共栄信用金庫 理事長(現:会長) 鈴木正俊氏



左から、信金中金 理事長 柴田弘之、能登町 町長(当時) 大森凡世氏、興能信用金庫 理事長 田代克弘氏



能登半島の今を知る

Before

震災被害の概要

能登半島はかつてない規模の被害に見舞われ、輪島朝市通りの焼失をはじめ、道路の寸断、インフラの壊滅的な被害が発生しました。住家の全壊・半壊が相次ぎ、多くの住民が避難を余儀なくされただけでなく、広範囲に及んだ地盤の隆起や液状化は、復旧の道のりを非常に厳しいものになっています。

住家被害

全壊6,537棟

半壊23,703棟

出典：内閣府「令和6年能登半島地震による被害状況等について（令和7年12月25日18:00現在）」
<https://www.bousai.go.jp/updates/r60101notojishin/r60101notojishin/index.html>



After

復興の兆しが見えつつある能登半島

震災から2年以上が経過した現在も、能登半島では生活再建に向けた取組みが進んでいます。輪島市では公費解体の90%以上が完了し、空き地に仮設店舗も作られ、震災の影響で隆起した海岸に新しい道路が整備されました。一方で、本格的な再建には依然として時間を要しており、地域の復旧・復興は現在も道半ばです。長期的な支援や継続的なボランティアが不可欠な状況が続いています。



七尾市和倉温泉からメッセージ

「泊まって、巡って」能登の旅をもう一度

能登観光の中心地であった和倉温泉も、復興への道のりはまだ続いています。「ここ能登半島で、また皆さまをお迎えしたい」という想いを胸に、一部の旅館や施設は営業を再開していますが、観光客の戻りが鈍いのも現状の課題です。皆さまが能登を訪れ、和倉温泉に宿泊し、街を巡っていただくことが、地域経済復興の温かい光となります。どうか、また能登半島へお越しください。皆さまをお迎えできる日を、心からお待ちしています。



6市町寄附対象事業進捗報告

七尾市 文化の火を灯し続ける能登演劇堂

止まっていた時間を動かす、復興の第一歩

能登の誇りである「能登演劇堂」は、故仲代達矢氏が監修、名誉館長を務める演劇専用ホールとして1995年に誕生しましたが、震災の影響で休館を余儀なくされていました。2025年度には寄附金を活用した復興支援公演として、無名塾による「肝っ玉おっ母と子供たち」を上演。震災後初めて、地域に「希望」と「賑わい」を取り戻す象徴的な公演として大きな注目を集めました。

2026年の
公演予定はこちら



大きな成果

復興公演は9,559人もの来場者で賑わいました。特に県外から多くの方にご来場いただきました。

来場者の声

「観光することで少しでも役に立てれば」という、温かい声が寄せられました。

未来へ

2025年10月には開館30周年記念公演『幽霊』を上演。2026年以降も複数の公演が計画され、文化の力で地域の未来を紡ぎます。



挑戦を支える市町の「生業・まちの再生」

輪島市

復興チャレンジ・新規出店応援事業
人口流出を食い止め、新たな賑わいを創出するため、飲食店、宿泊施設などの新規出店を支援。震災を乗り越えた事業者の新たな挑戦を後押しします。

穴水町

地域コミュニティとなりわいの再生プロジェクト
国・県補助金に対し最大100万円の上乗せ補助で、被災事業者の自己負担を大幅に軽減。この温かい支援の結果、町内事業者の約8割が営業を再開しています。

志賀町

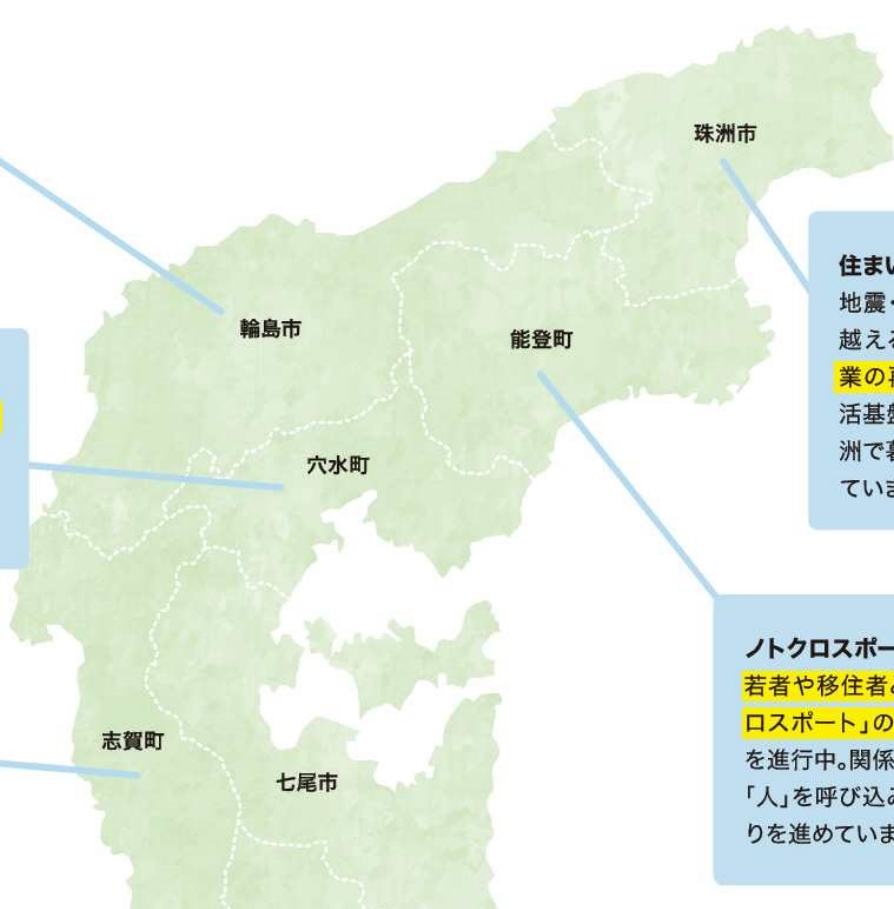
事業者等災害復興支援金事業
町内企業・個人事業主への迅速な給付事業を実施。農業機械再取得支援など、地域の基幹産業まで含めた広範な支援を実現し、事業の継続をサポートしました。

珠洲市

住まい再建・なりわい再建支援事業
地震・豪雨という二重の災害を乗り越えるため、「住まいの再建」と「生業の再建」を両面からサポート。生活基盤への手厚い支援は、住民が珠洲で暮らし続けるための希望となっています。

能登町

ノトクロスポート再建事業
若者や移住者との交流拠点であった「ノトクロスポート」の再建(2026年度中完了目標)を進行中。関係人口創出や事業承継支援など「人」を呼び込み、未来の活力を生むまちづくりを進めています。



皆さまの応援が能登半島の未来をつくる!

復興応援アクションガイド



巡って応援 能登半島の今に触れる6つの市町観光

海風の匂い、美しい里山、受け継がれてきた文化と食

6つの市町には、そんな能登らしい魅力が今もあちこちに広がっています。

七尾市

開湯1200年の和倉温泉や、勇壮な祭り文化が息づく街です。「和倉温泉お祭り会館」では、その熱気と伝統を一年中体感できます。



輪島市

輪島塗の伝統と、復活した輪島朝市、80kmに及ぶ雄大な海岸線や棚田の景観など、伝統文化と自然美が魅力です。



珠洲市

雄大な自然と揚げ浜式の塩田が育む奥能登。道の駅すずなり「福幸井」で新鮮な海の幸をご賞味ください。



志賀町

能登金剛の海岸美と世界一長いベンチ、富木八朔祭礼や西海祭り。ダイナミックな自然と、祭り文化が魅力です。



能登町

イカ釣り漁火が美しい内浦の自然を満喫。キリコ祭りやアマメハギ、あえのことなど、伝統文化が色濃く残る地域です。



穴水町

静けさが美しいリアス式海岸や、一面に広がる牡蠣棚、ボラ待ちやぐら。穴水町ならではの風景を堪能できます。



買って応援 復興支援となる「ふるさと納税サイト」

皆様のふるさと納税による復興支援は、単に寄附金となるだけではなく、返礼品が地元の事業者の収入に直結し、事業継続を支える力となります。ぜひ、魅力的な返礼品を通じて、能登の応援をお願いいたします。

ふるさと納税サイト



七尾市



輪島市



珠洲市



志賀町



能登町



穴水町

観光情報サイト



七尾市



輪島市



珠洲市



志賀町



能登町



穴水町



信用金庫向け視察研修「能登半島を巡る旅」

全国の信用金庫役職員を対象に、被災地の視察や体験、講話を含む研修を実施いたしました。

目的

能登半島の現状や復興への取組み、自然を肌で感じていただき、各信用金庫の「災害対応力の強化」や能登半島への団体旅行の企画を通じた「復興支援の具体化」につなげること。



研修プログラム

地域の災害対応力強化に向けた信用金庫の対応にかかる研修(講師:信金中金)と、能登半島地震からの復興の現状やのと里山空港を拠点とした「震災を学ぶ旅」に関する講話(講師:のと里山空港利用促進協議会)を受講しました。



コスモアイル羽咋視察

NASA協力の宇宙科学博物館を訪れ、宇宙船や本物の隕石などを視察し、「UFOのまち羽咋」独自の文化や観光資源を体感しました。



和倉温泉復興ツアー

和倉温泉街や一本杉通りを歩きながら、震度6強を観測した和倉温泉旅館の被害状況、発災当時のスタッフのお客様対応などをガイドの方から伺いました。



地元信用金庫による講話

のと共栄信用金庫 緩目理事長、興能信用金庫 田代理事長より「震災の経験と今後の課題」や「能登半島の観光PR」に関する講話を受け、金融機関としての有事の対応や能登半島の観光地の復興状況を学びました。



震災語り部観光列車体験

のと鉄道株式会社が運行する「震災語り部観光列車」に乗車し、列車運行時に被災した車内アテンダントによる震災の体験談や復興への道りを車窓風景の案内とともに伺いました。



のと里山空港内「NOTOMORI」にて震災講話

「能登人」として能登で復興に取り組む空港職員の方を語り手に迎え、震災当時の空港の状況や復旧・復興拠点としてののと里山空港が果たした役割について講話を受けました。

地元信用金庫による事業者への伴走支援

地元信用金庫(のと共栄信用金庫・興能信用金庫)は、補助金申請サポート、販路開拓支援、資金繰り相談など、各事業者の不安や課題に深く寄り添った伴走支援を継続しています。地域に根差した信用金庫の力で、能登の復興を支えます。

皆さまの応援が能登半島の未来をつくる

「能登半島復興応援定期積金」にご協力いただいたすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。皆さまの応援こそが、能登の未来に希望をもたらします。ご紹介した復興事業、地元の方々の諦めない想いにこれからも「旅行」や「ふるさと納税」といった形でお力添えいただければ幸いです。

